

区政会議の質問・意見に対するその後の対応

資料2

番号	年月	意見	対応
1	令和4年7月 第1回区政会議 (グループ討議)	歩くイベントを実施し、歩くことを楽しみにする。	WEBアプリを利用して緑陰道路でウォーキングするイベント「西淀川イネープリングシティウォーク」を9月17日と9月25日に実施しました。大和田郷土史会との共創により「大和田歴史散歩」を10月23日に実施して、西淀川区の歴史を巡ります。また、10月22日開催予定の健康いきいき展の中で江崎記念館まで歩くイベントを実施予定です。今後も、歩くイベントとコラボできる機会があれば、実施を検討していきます。
2	令和4年7月 第1回区政会議 (グループ討議)	出来島の外国籍の方達と交流していく。労働者の2世の中高生達で、母国語も日本語も片言のこども達がいる。高校受験を控えて、集中的に勉強しないといけないが、親子ともに日本語が満足に話せないこどもの学習・語学支援をできる環境でありたい。	今年度より、地域のこども支援団体、学校園、学校元気アップ事業、教育委員会事務局と実行委員会を組織し、「たぶんか高校進学セミナー」を開催しております。外国につながるこどもが高校を受験する際の仕組みや高校進学の際にかかる費用を保護者・こどもに向けて解説し、自分たちのルーツの先輩と語り合う場を用意することで、将来への夢を持ってもらう事業です。また、中学校を卒業した状態で来日したこどもに対しても、直接高校を受験する「ダイレクト受験」の仕組みを大阪府教育委員会の支援を得ながら解説し、在学生を含め、受験までのイメージができる支援となっております。
3	令和4年7月 第1回区政会議 (グループ討議)	海拔が低いことを漠然と怖いと思っている子育て層に、防災イベントで啓発してはどうか。	令和4年1月15日に開催された防災イベント「防災クラフトパーク」と連携して海拔に関する啓発を行いました。また、令和4年8月4日に開催された「にしよど防災カフェ」でも海拔に関する啓発を行いました。今後とも、区域の海拔が低いことや津波など水の災害に対する備えなどについて、子育て層の方に広報啓発をしままいります。
4	令和4年7月 第1回区政会議 (グループ討議)	マイボトルにすると道のペットボトルゴミがなくなる。	令和4年6月よりマイボトル活用をSDGs達成に向けての一つの取り組みとして位置付け、次のとおり取り組んでいます。 ・区役所庁舎1階への給水スポット設置・利用呼びかけ(水道局より借受) ・マイボトル活用呼びかけの広報を展開(当区広報紙、HP、SNS(LINE、ツイッター、フェイスブック)、庁舎でのポスターなどの貼出し) ・毎月17～23日をマイボトル推進週間としています。 今後とも、マイボトルの推進を行うとともに、ペットボトルごみについての啓発活動などに努めてまいります。
5	令和4年7月 第1回区政会議 (グループ討議)	自然体験がもっとできるようにする。	区役所では、環境美化啓発を主軸として、淀川河川敷や矢倉緑地公園において、ハゼ釣り大会などの啓発事業を実施しております。ハゼ釣り大会では、ハゼ釣り以外にも環境局と連携して水質調査などを行い、淀川環境と自然生態系を学んでもらいます。環境美化というテーマは大切なテーマでありますので、引き続き実施していきます。
6	令和4年3月 第3回区政会議	まちづくり活動支援事業の中で、「阪神なんば線「福駅」の高架化を地域活性化のチャンスと捉え」と会議資料にあるが、現時点で高架化された後、その下でどういう活動ができるかとか、具体的に何か考えているようなことがあればきたい。	若手も交えたグループで検討を重ね、令和4年6月に地域活動協議会と若手グループで福駅周辺活性化協議会を立ち上げました。今後、協議会で高架後のまちのありかたについて検討する予定です。